



教授

大矢 勝

オオヤマ マサル



大学院環境情報研究院 人工環境と情報部門
大学院環境情報学府 環境リスクマネジメント専攻 生命環境マネジメントコース
理工学部 化学・生命系学科 化学応用教育プログラム

moya@ynu.ac.jp

<http://www.detergent.jp>

複合領域
生活科学

家政・生活学一般

洗浄試験
洗浄技術
洗剤
界面活性剤
水生生物毒性

【研究概要】

衣類の洗濯、食器洗い(手洗い+食洗機)、住居の掃除などの生活面から金属部品、建物、道路等の洗浄に至るまで、幅広い洗浄の分野での洗浄試験法の開発と、新たな技術開発のための援助を行っている。また、洗剤・洗浄剤の環境影響についても研究している。

【アドバンテージ】

洗浄は範囲が広い。それぞれの分野の洗浄の専門家はいるが、生活面から産業面まで含めて幅広い洗浄の分野をカバーする研究者は日本では他にほとんどいない。企業の技術者向けに各種洗浄に関するセミナーの講師も多数受けている。

【事例紹介】

吸水性セラミックの洗浄、金属加工工程用の洗浄剤、新型石けんの洗浄性能、業務用食器洗浄機用洗浄剤、家庭用食器洗い乾燥機、新型シャワーヘッド、建造物洗浄用ロボット、非界面活性剤系洗浄剤、有機酸型洗浄剤などを実施してきた。

■ 相談に応じられるテーマ

洗剤・洗浄技術の評価
洗剤・洗浄剤の環境影響評価
汚れと洗剤の化学分析
洗浄技術の改善
新たな洗浄技術の改善

■ 主な所属学会

日本油化学会
日本繊維製品消費科学会
日本家政学会

■ 主な論文

『画像処理による洗浄性評価への家庭用デジタルカメラの適用』
『日本家政学会誌59巻5号』2008.5
『洗剤の洗浄力の優劣判断における注意点:市販洗剤とアルカリ剤の洗浄試験結果の分析』『繊維製品消費科学48巻9号』2007.9

『水環境系に対する界面活性剤の影響』『オレオサイエンス7巻1号』2007.1

『パーソナルコンピュータを用いた画像処理による汚れの定量法』
『繊維製品消費科学44巻7号』2003.7

『衣類の泡沫洗浄に関する研究(第12報):ポリエステルモスリンからのトリグリセリド汚れの洗浄性』『繊維製品消費科学35巻6号』1994.6

■ 主な著書

『機能水洗浄技術最前線』エヌ・ティー・エス 2009.5
『地球にやさしい 石けん・洗剤ものしり事典』ソフトバンク・クリエイティブ 2008.2
『洗剤・洗浄百科事典』朝倉出版 2003.10